

設計・計画部門



かま だ まさ ひろ  
鎌田 順寛

生年月 1990年4月大阪府生まれ  
最終学歴 2015年大阪大学大学院  
工学研究科地球総合工学  
専攻修士課程修了  
業務経歴 2015年榊大林組入社  
現在、名古屋建築設計部  
●担当した主なプロジェクト  
2016年 日本生命浜松町クレア  
タワー  
2018年 南山大学 レーモンド・リノ  
バージョン・プロジェクト  
2019年 富士ソフト新名古屋ビル

■青年技術者のことば

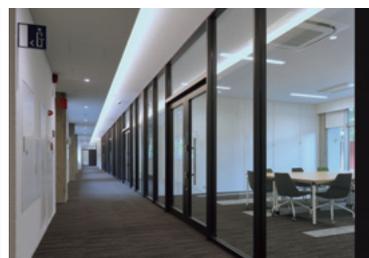
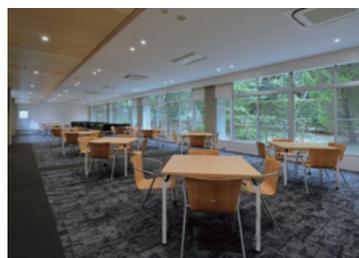
私が建築を設計する時に最も大切に考えているテーマは「建築のもつ可能性を拓くこと」です。空間をデザインすることで敷地や既存建築物が本来持っている長所を最大限引き出したり利用者の生活が豊かになることを目指しています。「日本生命浜松町クレアタワー」では「江戸の素材感」を感じさせるエントランスホールを細部までこだわって設計することで、利用者を迎える確かな存在感を感じる空間となりました。「南山大学レーモンド・リノベーション・プロジェクト」では部位ごとに保存・保全・活用のランク分けを行った設計によりアントニン・レーモンド氏設計の貴重な既存建築物の価値を最大化しながら、現代において要求される教育環境の整備を行いました。「富士ソフト新名古屋ビル」では前面道路に向かって開かれた大きなバルコニーを設置することにより、外部空間を取り込んだ、面積効率がよく周辺の景観向上にも寄与するワークスペースを計画しました。これらの設計では共通して、空間のデザインによって既存の建築物や街並がより豊かになり、人々がその場所に大きな価値を感じられるように考えました。これからもそのような理想とする空間づくりを実現できるよう精進していきたいと思っております。

■すいせん者

浅野浩明  
（株）大林組  
名古屋建築設計第一部 部長



富士ソフト新名古屋ビル



南山大学レーモンド・リノベーション・プロジェクト



日本生命浜松町クレアタワー